

## 姫路市まちづくりのためのアンケートについて

### ①調査対象者

15歳以上の市民10,000名（外国人含む）

### ②調査期間

平成30年8月28日（火）～9月21日（金）

### ③回収率

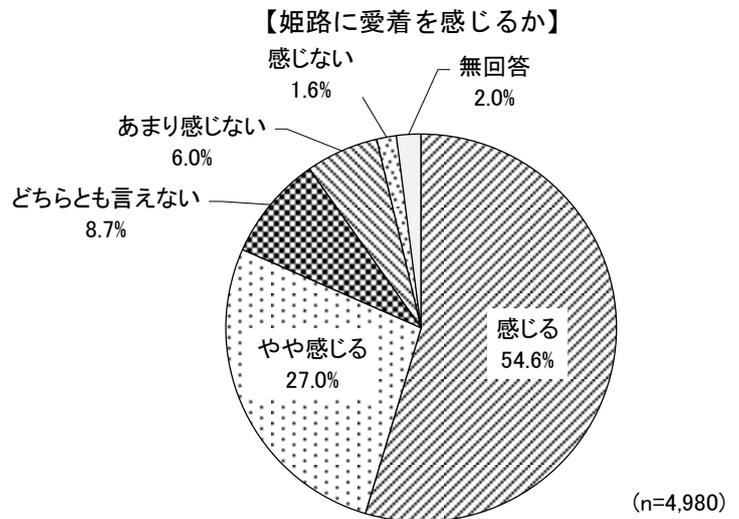
発送数	10,000票
有効回収数	4,980票
有効回収率	49.8%

## 2. 調査結果の概要

### (1) あなたは姫路に愛着を感じますか

・「やや感じる」を含めると、80%以上が愛着を感じると回答している。一方、「あまり感じない」を含めて、愛着を感じないという回答割合は8%未満となっている。

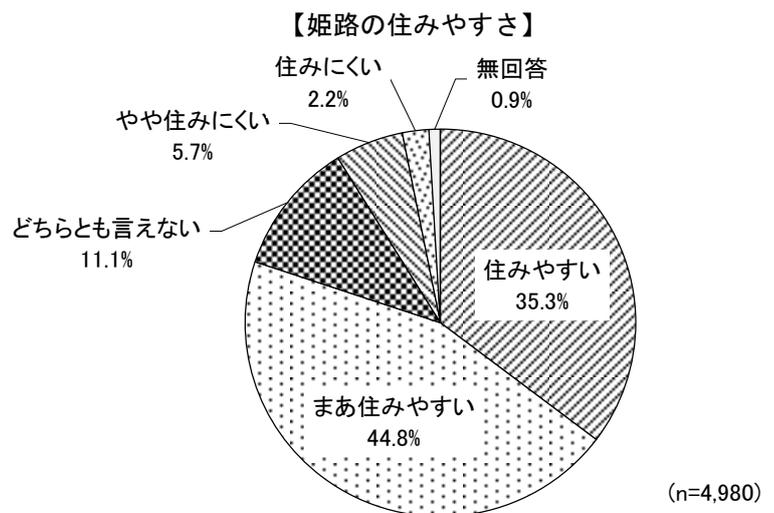
・年齢別では、50歳代以上で「感じる」の回答割合が高くなり、70歳代以上が65.4%ともっとも高く、次いで、50歳代で56.3%となっており、20歳代で43.3%ともっとも低くなっている。



### (2) 今の姫路は住みやすいと思いますか

・「まあ住みやすい」を含めると、80%以上が住みやすいと回答している。一方、「やや住みにくい」を含めて、住みにくいという回答割合は約8%になっている。

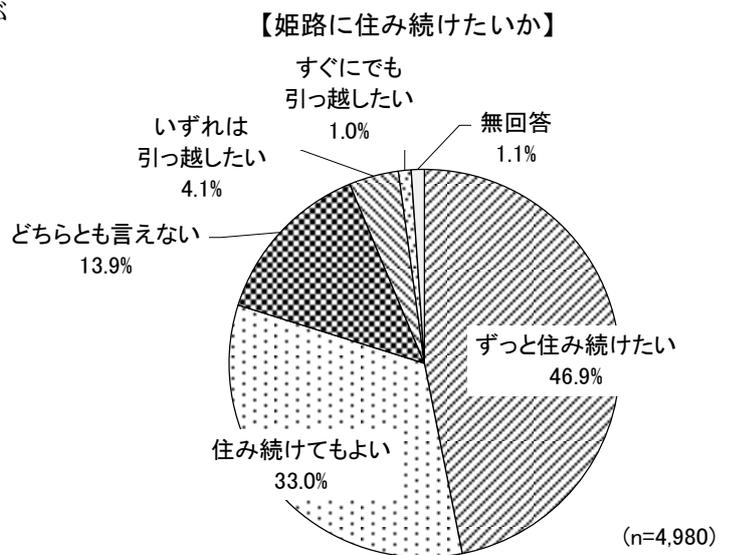
・年齢別では、10歳代で「住みやすい」、「まあ住みやすい」の回答割合が83.9%ともっとも高く、次いで50歳代で82.3%となっており、30歳代で78.1%ともっとも低くなっている。



### (3) これからも姫路に住み続けたいですか

・「住み続けてもよい」を含めると、約80%が住み続けたいと回答している。一方、「いずれは引っ越したい」を含めて、引っ越したいという回答の割合は約5%となっている。

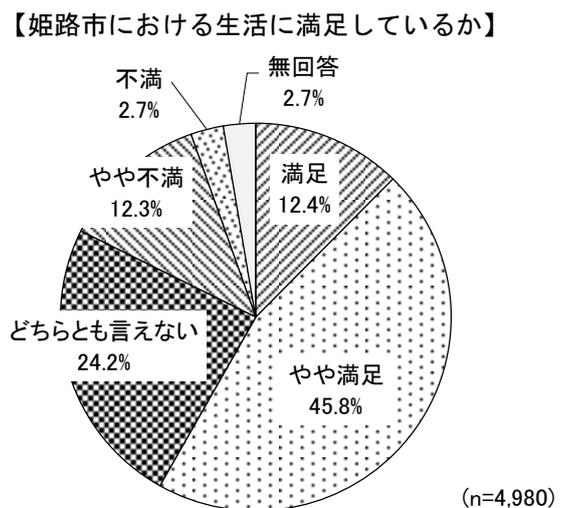
・年齢別では、70歳代以上で「ずっと住み続けたい」、「住み続けてもよい」の回答割合は86.5%ともっとも高く、次いで60歳代で83.2%となっており、10歳代で61.7%ともっとも低くなっている。



### (4) 総合的にみて今の姫路市における生活に満足していますか

・「やや満足」を含めると、58.2%が生活に満足していると回答している。一方、「やや不満」を含めて、生活に不満があるという回答割合は15.0%となっている。

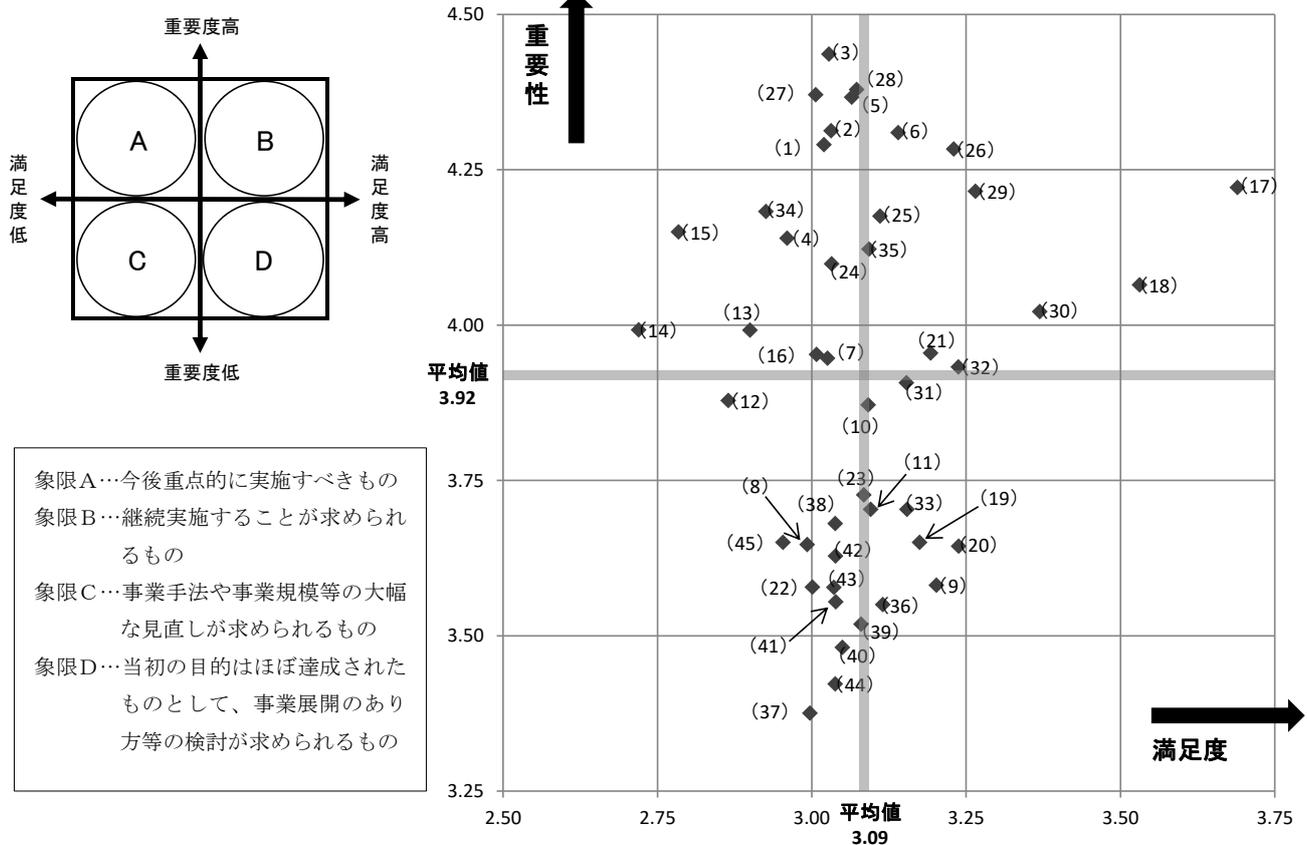
・年齢別では、10歳代で「満足」、「やや満足」の回答割合が66.7%ともっとも高く、次いで、70歳代以上の61.6%となっており、60歳代で54.8%ともっとも低くなっている。



(5) 姫路市の施策に対する現状の満足度と今後の重要性について

・満足度が低く、重要性が高いことから今後重点的に実施すべきものであると考えられるのは、「①福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進」、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」、「④障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実」、「⑬中小企業の育成などものづくり力の強化」、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」、「⑮就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」、「⑰耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進」、「⑳公共交通網の充実など交通網の構築」などで、産業、福祉、防災などの分野がみられる。

【満足度と重要度の4象限マトリックス分析の結果】

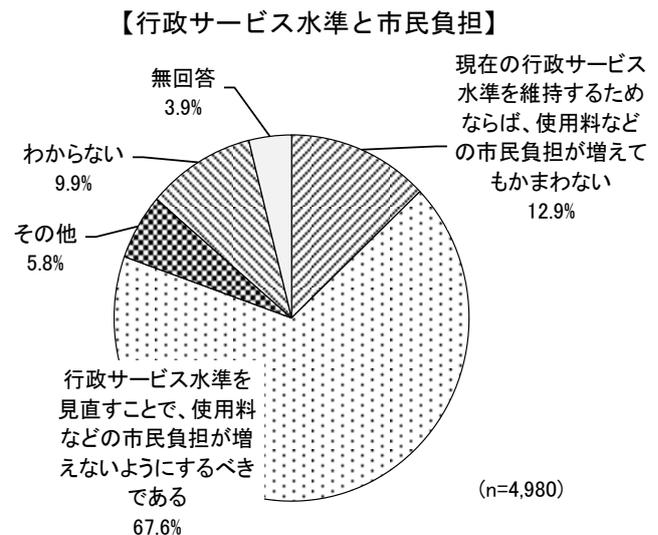


施策の主な内容	象限
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	A
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	A
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	A
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	A
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	A
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	B
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	A
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	C
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	D
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	D
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	D
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	C
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	A
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	A
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	A
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	A
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	B
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	B
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	D
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	D
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	B
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	C
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	C

施策の主な内容	象限
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	A
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	B
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	B
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	A
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	A
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	B
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	B
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	D
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	B
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	D
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	A
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	B
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	D
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	C
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	C
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	C
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	C
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	C
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	C
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	C
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	C
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	C

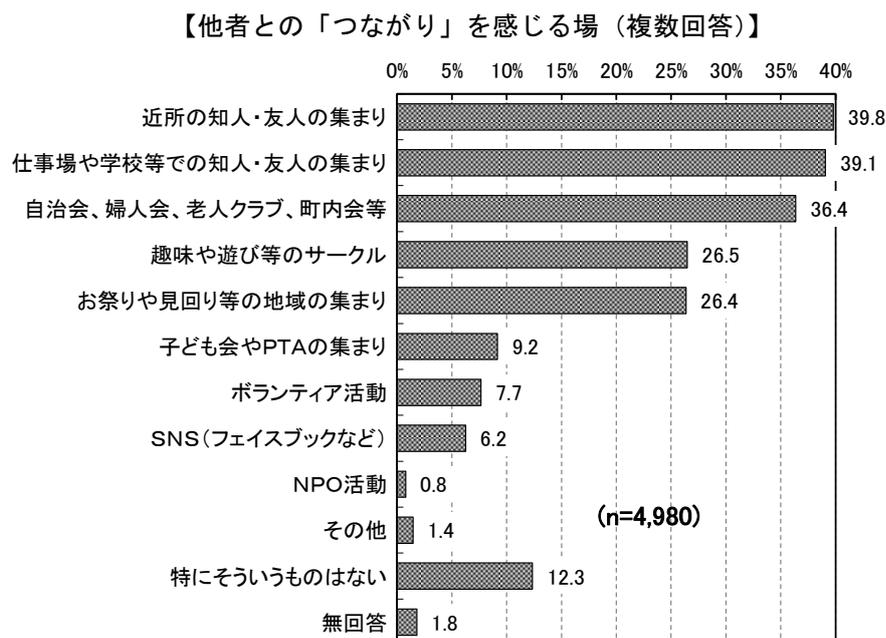
**(6) 行政サービスの水準、市民負担についてあなたの考えに近いものはどれですか**

- ・「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が 67.6% となっており、「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」は 12.9% になっている。
- ・年齢別では、10 歳代以外では「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が 65% 以上となっており、10 歳代では、50.0% となっている。



**(7) 他者との「つながり」を感じる場はどれですか**

- ・「近所の知人・友人の集まり」の回答割合が 39.8% でもっとも高く、次いで「職場や学校等での知人・友人の集まり」が 39.1%、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」が 36.4% となっている。
- ・年齢別では、10 歳代から 50 歳代では「職場や学校等での知人・友人の集まり」の回答割合が半数を超えもっとも高く、60 歳代、70 歳代以上では「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」（60 歳代 45.3%・70 歳代以上 52.7%）の回答割合がもっとも高くなっている。また、10 歳代から 30 歳代では、全体より「SNS（フェイスブックなど）」（10 歳代 20.6%・20 歳代 20.8%・30 歳代 15.3%）の回答割合が高くなっている。



### (8) アピールすべき姫路の魅力はなんですか

- ・「姫路城などの歴史遺産」の回答割合が78.4%ともっとも高く、次いで「秋祭りなどの伝統行事」が41.6%、「海・山・川など豊かな自然」が29.7%となっている。
- ・年齢別では、10歳代、20歳代では「秋祭りなどの伝統行事」（10歳代53.9%・20歳代49.0%）の回答割合が全体より高くなっているが、「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」（10歳代15.6%・20歳代15.4%）、「良好な住環境」（10歳代11.7%・20歳代15.7%）の回答割合は全体より低くなっている。

